

沖縄県立芸術大学広報誌

開 鐘

K E - J O U

第27号



美術工芸学部 美術学科
芸術学専攻 教授

尾形 希和子

令和6年度をもってご退任された尾形希和子教授
からのメッセージをご紹介します。



写真：高野大

今は昔1989年のこと、沖縄県立芸術大学に翌年設立される音楽学部でイタリア語教師を募集しているというお話を、東京芸大から千葉大学に移られて間もない若桑みどり先生からいただいた。学生時代から筑波科学万博イタリア館に勤務するなどしていた私は、その頃フリーランのスイタリア語通訳・翻訳者として生計を立てていた。昭和天皇崩御でイベントがすべてキャンセルになることもあったが、まだパブルは続き、音楽・美術・スポーツ・見本市・ロボット工学など、あらゆる分野で仕事があった。沖縄には一度も行ったことがなく、東京で仕事とイタリア美術の研究を両立させたいと考えていた私が不安を漏らすと、先生は「大丈夫、東京からも沖縄からもイタリアへの距離は同じだから」とおっしゃった。私が最終候補者となったのは、芸術学専攻を作る構想があったからだと聞いている。赴任の6年後に芸術学専攻が設置されるまでは音楽学部所属の一般教育科目の教員であった。研究室も音楽棟にあった。

開学後5年目を迎えたばかりの大学は、希望と開放感に溢れていた。音楽学部の教員の多くは私と同様沖縄初心者で、皆で観光客よろしく様々な場所を訪れた。通訳時代、ミラノ・スカラ座の引越し公演の事務局に勤務し歌い手や裏方との

交流はあったものの、音楽学部で音楽業界特有の文化と炸裂する個性の只中に身を置くのは貴重な体験だった。

芸術学専攻発足とともに美術工芸学部に移籍したが、ここでもものを作る人々の一見静かだが内に燃え盛る情熱に触れることになる。音楽・美術という異種業界の人々との接触で私という人間のアイデンティティーも良い意味で揺さぶられた。また独特の気候風土・文化もさることながら、国境とは、境界とは何かを地政学的・歴史的に問い続ける沖縄という土地の力は、異なる文化の接触による図像の伝播や変容を辿るという研究テーマにも影響している。芸術学専攻では、思いもよぬ卒論テーマを選ぶ学生たちの指導で必要に迫られて学んだことが、私の研究の幅を広げてくれた。色々な縁によって本学に導かれた私を今まで育て支えてくださった両学部・当時の一般教育・事務局・学生のみなさま、そして恩師や友人のみなさまへの感謝の念に堪えない。

大学を取り巻く厳しい昨今の環境の中でも、沖縄県立芸術大学が芸術文化の発信地として、また同窓生の拠り所として逞しく生き残り、さらなる発展を遂げるよう心より祈念いたします。

尾形希和子（芸術学専攻 教授） 



本学学生の有志は城田優さんと演奏でも共演し、会場から大きな拍手が送られました。

城田 優 講演会 「ミュージカル」って何？

音楽学部声楽コース「舞台表現演習」公開講座



2024 年9月2日（月） 沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール

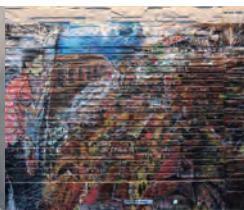
音楽学部音楽表現専攻声楽コースが担当する「舞台表現演習Ⅰ」の授業に関連して、現在日本や海外で活躍中の俳優・城田優さんを招聘し、ミュージカルについての講演を行いました。ミュージカルは世界中で重要な舞台芸術ですが、沖縄県内ではミュージカルを鑑賞する機会はなかなかありません。今回は声楽コースの受講生だけではなく、学内や県内の中高生へも広く参加を呼びかけ、多くの反響がありました。平日月曜の開催で新学期が始まるタイミングだったにもかかわらず、約250名が来場し、その様子は新聞やテレビで紹介されました。

城田優さんは、自身の容姿に劣等感を持ちながらも自分らしさを認め努力した自身の経験を話し、様々な差別を受けながらも「人を笑顔にする」自らを想像し、努力を続けて夢を叶えたと語りました。会場からも活発な質疑応答があり一つ一つ丁寧に回答されていました。



この屋台村「酔夢芝居舞クラクラ」は、北部九州・山口を中心として「地域に根ざした不動産活用ビジネス」を展開しているコンダクト株式会社が主体となり、「美味しい」「ふれあい」「地産地消」をキーワードに人々が集う屋台村を目指して設立されました。そして希望ヶ丘公園を含む周辺地域の活性化および安全・安心・豊かで持続可能な街づくりに貢献できる屋台村をめざし、設立にあたって沖縄県立芸術大学と産学連携を通じて行っています。

デザイン専攻のPBL（課題解決型授業）でリサーチ・コンセプト立案からスタートをして、実施制作段階では美術学部全専攻で取組み、学生14名 OB 2名で壁画・彫刻・シーサー・フェンス・ロゴサイン・案内板など空間を彩る各種アート・デザインを手がけました。





沖縄県立芸術大学 × デパートリウボウ

第5回アートフェスティバル 展示販売会&演奏会

会期：2024年9月4日（水）～9月8日（日）

会場：デパートリウボウ6階イベントスペース

沖縄県立芸術大学とデパートリウボウとの社会連携として、第5回アートフェスティバル 展示販売会&演奏会を開催しました。

絵画・彫刻・デザイン・染・織・陶芸・漆芸の約1000点の作品展示に加え、切り絵や箔貼り、機織り、特殊メイクなどのワークショップでは、幅広い年齢層のお客様に様々な体験を通して楽しんでいただくことができました。このイベントでは接客からワークショップまで、全て出品者が行います。作品を手にしたお客様に技法を説明する在学生や、ワークショップを通じて自身の仕事の経験値を重ねる卒業生の姿が見受けられました。

また、フルート、声楽、声楽・ピアノ・三線アンサンブルの3つのチームによるプログラムで構成された音楽学部の演奏会では、展示会場が暖かい拍手に包まれました。

生演奏と作品が同時に鑑賞できる、まさに音楽と美術工芸のコラボレーションが実現したイベントとなりました。



池間 北斗

琉球箏曲演奏家



本学を卒業して、早いもので十四年が経ちました。これまで数々の舞台を踏み、様々な場所を訪れ、多くの出会いがありました。本学の進学をなしにして、これまでの人生は語れません。

7歳の頃に又吉貞子師匠に師事しましたが、高校進学するまでは一つの習い事的な存在でした。しかし、南風原高等学校郷土文化コースへの進学と国立劇場おきなわ第一期組踊研修の受講は大きな転換期となりました。組踊研修では人間国宝をはじめとした第一線の先生方から指導を仰ぎ、芸大を卒業した先輩方と共に切磋琢磨しながら研修に励みました。この経験が本学への進学に大きく影響しました。

在学中は宮里秀明氏をはじめ、第一線で琉球芸能を牽引する先生方、同年代でありながらも高いレベルで演奏演舞をする先輩、同期、後輩との出会いがありました。また、洋楽や美術の学生との交流もあり芸術を志す者として大きな刺激を受けました。

卒業後は、非常勤職員や介護職に従事しながら国立劇場（沖縄・東京・大阪）をはじめ、国内外の公演に数多く出演しました。組踊研修修了生で構成される「子の会」では組踊の普及活動に取り組みました。しかし、このような経験を積む中で「自分の力を推し量りたい。和箏の世界でどこまで渡り合えるのか。」という思いを抱くよ

うになり、箏曲の全国大会「第24回賢順記念全国箏曲コンクール」に出場することを決意しました。ありがたいことに1位の賢順賞を受賞できたことは、大きな自信となりました。また、この受賞は「琉球器楽の会」の発足に大きなきっかけを与えることとなり、当会での活動は新たな演奏技術の向上に繋がりました。このような活動が評価され、2021年に「第25回日本伝統文化振興財団賞」を受賞し、その翌年には受賞のお披露目を兼ねた初のリサイタルを国立劇場おきなわにて開催いたしました。そして、2022年には「古典企画」を発足し沖縄の伝統芸能の魅力を発信しています。

前学長の比嘉康春氏が語った「芸大では20年分を4年間で習得する。」は今でも印象に残っています。これは技芸だけではなく知識、感性への刺激、人との出会いなど多角的な学びを意味しているものと感じています。在学生の皆さんをはじめ、これから芸大での学生生活が始まるという方も一日を大切に様々な課題に取り組んで下さい。そして、先人たちが築き上げた芸を次世代に受け渡していく架け橋になることを願っています。芸を磨くことの積み重ねが未来のあなたに繋がります。輝かしい未来の姿を育成する場所が芸大だと、私は確信しています。

池間北斗

第35回琉球芸能定期公演

日時：令和6年10月12日(土) 13:00

場所：国立劇場おきなわ 大劇場



演目

1. 斉唱

「かぎやで風節」「コハデサアブシ」

2. 舞踊

「御代治口説」

3. 組踊

「女物狂」

4. 独唱

「白鳥節」「仲風節」「述懐節」

5. 舞踊

「かりゆしの舞」

6. 舞踊

「思羽」

7. 舞踊

「あやぐ」

第35回洋楽定期公演・第30回オーケストラ定期演奏会 特別演奏会

日時：令和7年1月12日(日) 15:00

会場：那覇文化芸術劇場なはーと(大劇場)



プログラム：

H. トマシ：アルトサクソフォーンとオーケストラのためのバラード

S. フロコフィエフ：ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26

G. シェリフ：カルミナ・ブラーナ



出演者：

指揮：下野 竜也

サクソフォーン：大城 そのか(管打楽コース4年次 ソリストオーディション選抜者)

ピアノ：仲宗根 和志(ピアノコース4年次 ソリストオーディション選抜者)

ソプラノ：松田 奈緒美(本学准教授)

テノール：山内 昌也(本学准教授)

バス：仲本 博貴(本学非常勤講師)

合唱：沖縄県立芸術大学 カルミナ・ブラーナ合唱団

児童合唱：那覇市立仲井真小学校合唱団

管弦楽：沖縄県立芸術大学オーケストラ

令和6年度 沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 企画展



附属図書・芸術資料館では、令和6年度の企画展として、「喜如嘉の芭蕉布」展を開催しました。

沖縄県北部の大宜味村で作られる「喜如嘉の芭蕉布」は、風通しの良いさらりとした生地的美しさを備えたもので、その品質が高く評価され、1974年には、国の無形文化財に指定されております。また、2000年(平成12年)には、戦後の「喜如嘉の芭蕉布」の復興に尽力をされた平良敏子先生が国の重要無形文化財の技術保持者として人間国宝に認定されました。

今回の企画展は、「喜如嘉の芭蕉布」が国の

無形文化財の指定を受けて50周年の節目にあたり、一昨年に逝去された人間国宝、平良敏子先生の作品を鑑賞できる貴重な機会となりました。

芭蕉布の着物や装束、袷や袴、タペストリー、ワンピース等の作品展示や、色と絣をテーマとした織製のパネル展示、素材や関連文献、道具類の展示、芭蕉布を纏っての琉球舞踊の公演も行いました。

会期中には、芸大祭や首里城祭で賑う中、1348名の来館者をお迎えし、好評を博しました。

芸術文化研究所



移動大学 in 伊是名島「地域芸能文化交流会」

芸術文化研究所では移動大学や文化・公開講座の開講、しまくとぅば実践教育プログラムの開発事業を行っています。令和6年度は、移動大学 in 伊是名島、文化講座「琉球・沖縄芸術文化を探究した偉人たち」、「空手・琉球の武術を学ぶ」、国際シンポジウム「ヨーロッパに渡った沖縄染織品—J.Langewisコレクションの調査報告—」を開催いたしました。

移動大学では伊是名村に赴き、琉球舞踊教室や粘土アニメ教室などの教室を開講するとともに文化芸能交流会を開催しました。

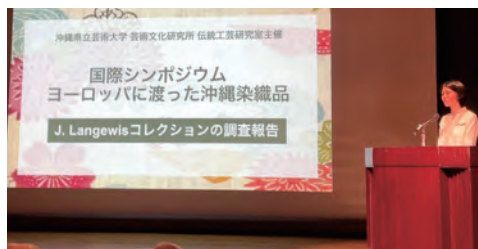
文化講座「琉球・沖縄芸術文化を探究した偉人たち」では、琉球・沖縄芸術文化において多大な業績を上げた人物について12名の各専門分野の講師による講座を開催しました。本講座では令和6年4月17日から9月30日まで動画が公開さ

れ、県内外の受講者から延べ3900回以上の視聴がありました。

文化講座「琉球・沖縄の武術を考える」では、空手を中心とした琉球・沖縄の武術文化について、歴史・秘伝書・芸能の3つの分野から専門家を招いて開催しました。どの講座も新たな視点からテーマに迫っており、同講座の継続した開催に期待の声が寄せられました。

しまくとぅば事業

芸術文化研究所では沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育開発事業として、音楽学部琉球芸能専攻と協力してしまくとぅばを積極的に用いた講義を行なっています。今年度も琉球舞踊の講義では人間国宝の宮城幸子先生をお招きして講義が開催されました。



国際シンポジウム「ヨーロッパに渡った沖縄染織品—J.Langewis コレクションの調査報告—」



【絵画】

曹婷婷（博士1年）第26回雪梁舎フィレンツェ賞展 入選
 佐野奈津美（博士1年）第13回熊谷守一大賞展 入選
 伊良波藍（修士1年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 町田隼人（修士1年）「神山財団芸術支援プログラム」11期奨学生
 喜納祥子（修士1年）第53回 沖縄県芸術文化祭 美術部門 入選
 第17回 那覇市民芸術祭 奨励賞
 第23回 奄美を描く美術展 入選
 2024年度 日本文化藝術財団奨学生
 外間彩音（学部3年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 永野愛子（学部3年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 黒田唯人（学部3年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 玉城八絵（学部2年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 玉榮葉奈子（学部2年）第76回 沖展 絵画部門 e-n-o新人賞
 野田日菜（学部2年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 屋良美稀乃（学部2年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 栗田大輝（学部1年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 鳥越星葉（学部1年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 西田悠那（学部1年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 第29回越後湯沢全国童画展 入選
 我喜屋瑠倭（学部1年）第76回 沖展 絵画部門 入選
 柴崎琳子（学部1年）第29回 越後湯沢全国童画展 入選

【彫刻】

土田 祐加（修士2年）第28回 岡本太郎現代芸術賞 入選
 第36回 沖縄県立芸術大学 卒業・修了作品展 北中城村長賞
 渡邊 祈（学部1年）第36回 沖縄県立芸術大学 卒業・修了作品展 専攻賞

【デザイン】

下川紗葉（学部1年）イオン琉球50周年 ロゴ・かりゆしデザイン 【50周年ロゴデザインの部】 最優秀賞（採用）
 高嶺紗彩（学部1年）イオン琉球50周年 ロゴ・かりゆしデザイン 【50周年ロゴデザインの部】 優秀賞
 糸満千（学部2年）沖縄水産ブランドマーク 最優秀賞（採用）
 上村美紀（学部2年）沖縄水産ブランドマーク 優秀賞
 前原芽衣（学部2年）沖縄水産ブランドマーク 優秀賞
 國古すみれ（学部3年）ジミー パッケージデザイン 最優秀賞（採用）
 登川結花（学部2年）日本パッケージデザイン学生賞2024 金賞
 志良堂愛莉（学部2年）サザンビーチホテル&リゾート沖縄 開業15周年記念ウォールアートコンテスト 最優秀賞
 福留 弦（学部3年）沖縄デジタル映像祭2024 優秀賞（短編部門）
 長嶺佳介（学部4年）日本建築学会 九州支部支部長賞
 飯吉美月（学部4年）第26回福岡デザインアワード ノミネート賞

大山美咲（学部4年） 第26回福岡デザインアワード ノミネート賞
 花城愛美アイジー（学部4年） 第26回福岡デザインアワード ノミネート賞
 宮坂くるみ（学部4年） 第26回福岡デザインアワード ノミネート賞
 玉城 蘭子（学部4年） A' Furniture Design Award 2023-2024（家具部門アイアン賞）
 稲嶺優子（修士2年 学部2年、3年グループ） サローネサテリテ（イタリア）入選
 Shop Japan（東京ビックサイト）入選
 田 東沢（博士課程）国際陶磁器フェスティバル美濃'24（岐阜県） 入選

【工芸】

<工芸専攻>

島田洋美（学部1年）第76回 沖展 入選
 イオン琉球50周年記念デザイン公募【50周年オリジナルかりゆしウェアデザイン】 優秀賞
 第17回 なは市民芸術展 絵画部門 入選

<染分野>

仲宗根萌（修士2年）第76回 沖展 うるま市長賞
 第36回 卒業・修了作品展 沖縄美ら島財団理事長賞
 第46回 沖縄県工芸公募展 新人賞受賞

<織分野>

與座 ジョンロバート（博士1年）第78回 新匠工芸会展 入選
 船越 清花（修士1年）第78回 新匠工芸会展 入選
 新垣 萌々（修士1年）第78回 新匠工芸会展 入選
 第8回 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科展 at OIST CYCLE 展 創造するエネルギー 2024
 OIST ビーブルズチョイスアワード賞

石川友紀子（学部4年）第36回 卒業・修了作品展 専攻賞

<陶芸分野>

平良奈菜子（学部4年）第36回 卒業・修了作品展 専攻賞 / 買い上げ賞

<漆芸分野>

嘉数翔（後期博士）第76回 沖展 奨励賞
 知花みのり（修士2年）第76回 沖展 e-no 新人賞
 第78回 新匠工芸会展 入選
 第36回 卒業・修了作品展 専攻賞
 第8回 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科展 at OIST CYCLE 展 創造するエネルギー 2024
 OIST ビーブルズチョイスアワード賞
 第46回 沖縄県工芸公募展 最優秀賞
 本山優（学部4年）第36回 卒業・修了作品展 北中城村文化協会賞

令和6年度 西銘順治賞・山本正男賞

【西銘順治賞】

伊藤詩織（絵画専攻）渡邊祈（彫刻専攻）東條ほのか（芸術学専攻）植田有里沙（デザイン専攻）石川友紀子（工芸専攻）

【山本正男賞】

仲宗根萌（生活造形専攻）根間笑花（生活造形専攻）田畑奈那子（環境造形専攻）土田祐加（環境造形専攻）王佳瑜（比較芸術学専攻）
 宗芸舟（芸術文化学専攻）根路銘まり（芸術文化学専攻）

【音楽表現専攻・演奏芸術専攻】

＜声楽コース＞

福元星梨奈(研究生) 第27回“長江杯”国際音楽コンクール 声楽部門 大学の部 第2位

第57回新報音楽コンクール 声楽部門 一般の部 第3位

＜ピアノコース＞

知念美樹(3年) 第57回新報音楽コンクール ピアノ部門 一般の部 第2位(1位なし)

第8回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア 沖縄予選 E部門 優良賞

第45回沖縄ピアノコンクール 大学・一般の部 金賞 / 第3回 美ら音コンクール アーティスト部門2位

新川真子(1年) 第57回新報音楽コンクール ピアノ部門 一般の部 第2位(1位なし)

西村安奈(3年) 第14回日本パッサコンクール全国大会 大学・大学院部門 銅賞

原國涼菜(2年) SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 沖縄大会 奨励賞

第34回 日本クラシック音楽コンクール全国大会 入選 仲宗根 和志(4年) 入選 松本陽佳里(4年)

第41回JPTAピアノ教育連盟オーディション沖縄地区[D部門]奨励賞 高江洲愛奏(大4) エフォート賞 横田美羽(大1)

第41回JPTAピアノ教育連盟オーディション沖縄地区[E部門]地区大会優秀賞(全国大会推薦)松本 亜依(2年)

第41回JPTAピアノ教育連盟オーディション全国大会[D部門]優良賞 仲宗根 和志(4年)

＜管打楽コース＞

宮迫希(4年) 第34回 日本クラシック音楽コンクール全国大会入選

中山百花(4年) 第57回新報音楽コンクール 管打部門 一般の部 第1位

松永慶介(院2年) 第57回新報音楽コンクール 管打部門 一般の部 第2位

安慶名貴紀(4年) 第57回新報音楽コンクール 管打部門 一般の部 第3位

大城そのか(4年) 入選 上地佑生(4年) 共演者賞 志水菜音(3年) 第30回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション 沖縄賞

＜声楽専修＞

岩元珠音(院1) 第4回国際声楽コンクール東京 新進声楽家部門本選 奨励賞

第27回長江杯国際音楽コンクール声楽部門・大学の部第3位

＜ピアノ専修＞

西山百花(院2) 第41回JPTAピアノ教育連盟オーディション沖縄地区[D部門]地区大会優良賞

【琉球芸能専攻・舞台芸術専攻】

久保拓弥(4年) 2024年度 沖縄タイムス伝統芸能選考会 三線・優秀賞

稲福詩織(4年) 2024年度 沖縄タイムス伝統芸能選考会 琉球舞踊・グランプリ

森山和人(4年) 2024年度 沖縄タイムス伝統芸能選考会 琉球舞踊・グランプリ

石川末侑(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・優秀賞

伊波陽香留(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・最高賞

藤原由希(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・新人賞。笛・新人賞

外間叶琉(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 琉球箏曲・最高賞。第21回琉球国民謡コンクール 大賞部門・大衆賞

第13回八重山古典芸能コンクール 八重山箏曲・新人賞

中里芽衣(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 琉球舞踊・優秀賞

宮里夏佳(3年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 琉球舞踊・優秀賞

亀谷澤壮(2年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 琉球舞踊・優秀賞

川上こころ(2年) 2024年度 沖縄タイムス伝統芸能選考会 琉球舞踊・最高賞

山田健太(1年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・新人賞

田原泰斗(1年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・新人賞

古堅樹音(1年) 2024年度 沖縄タイムス伝統芸能選考会 三線・新人賞

岸本望乃叶(1年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 琉球舞踊・優秀賞

津波古孝太(院2年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・最高賞。笛・最高賞

大城希里(院1年) 第58回 琉球古典芸能コンクール 三線・最高賞

名嘉真蒼織(研究生) 第58回 琉球古典芸能コンクール 笛・新人賞

令和6年度 西銘順治賞・山本正男賞

【西銘順治賞】

前田はな(音楽表現専攻) 高江洲 愛奏(音楽表現専攻) 川口雅史(音楽文化専攻) 稲福詩織(琉球芸能専攻)

【山本正男賞】

中村優希(舞台芸術専攻) 坂田歩(演奏芸術専攻)

開鐘 (KE-JOU)

開鐘とは、明け六つの開静鐘の優雅な音にたとえられた三線の尊称です。

沖縄県立芸術大学も開鐘のように
遥か彼方まで鳴り響き、
世界に向かって飛躍する拠点となる事を願い、
広報誌を「開鐘」と名付けました。

沖縄県立芸術大学 広報委員会

2025 年 5 月 15 日発行

